

【ねらい】

情報モラルの三つの取組の視点から校内の取組と課題を説明できる。

【ポイント】

- ① 情報モラルとは
- ② 情報モラルの指導
- ③ 参考資料

【活動】 情報モラルの三つの取組の視点から校内の取組を振り返ってみよう。



情報社会で適正な活動を行うための
 基となる考え方と態度

（小中高特 学習指導要領解説総則編 道徳編）

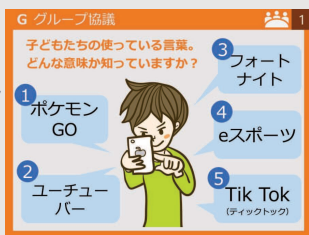
- 情報社会の「影」の部分を理解した上で
- よりよいコミュニケーションや人と人との関係づくりのために情報手段（コンピュータやネットワーク等）を上手に賢く使っていく
- そのための判断力や心構えを身につけさせる教育である

- パソコン 約40年前（PC-98シリーズ発売 1982年）
- インターネット 約25年前（Yahoo! Japan 開始 1996年）
- 携帯電話 約20年前（i-mode 開始 1999年）
- スマートフォン 約10年前（iPhone4s 発売 2011年）
- タブレット 約9年前（iPad 第3世代発売 2012年）

今の子供たちは？

今や子供たちの興味関心の多くは、ネットの中にあります。

情報モラルの指導の第一歩は、子供たちの置かれている状況を理解することです。



情報モラルに関する研修講座の導入に使う資料の一部。今の子供たちの興味関心について、グループ協議を通して、理解を深めます。

3点に集約される

- ① ネット依存
実生活への影響、学力低下、不登校…
- ② SNSトラブル
ネット上でのいじめ、実態把握の難しさ…
- ③ ネット被害（加害）
個人情報流出、多額請求、性被害…

- ネット上のいじめに関する教職員研修を全ての学校で実施
- 児童生徒への情報モラル指導や保護者への啓発を全ての学校で実施

岡山県いじめ問題対策基本方針（平成26年）「岡山県はいじめ問題対策の重点」から抜粋

「スマートフォン・ゲーム等の夜間使用制限」

- 保護者が午後9時以降はスマホを預かりましょう。
- ゲームも午後9時までとしましょう。

岡山県教育委員会（平成26年）

「OKAYAMAスマホサミット」（山陽新聞社主催、岡山県教委、岡山市教委共催）

- 青少年へのフィルタリングサービスの提供（義務）
- 適切な活用能力を習得するための学習機会の提供（努力義務）

※ インターネット接続役務提供事業者

青少年インターネット環境整備法（平成22年4月）

- 保護者の気持ちにより添い，学校の方針や取り組んでいることを伝える
- 保護者同士の話し合い
- 親子の認識のずれを知らせ，親子で話すきっかけを作る

情報化社会の新たな問題を考えるための教材 指導の手引き 文部科学省委託事業



平成30年度 岡山県総合教育センター研究委員会より

共通の課題

- ・多忙で準備や授業時間をとりにくい
- ・講演会や外部講師にお任せになっている
- ・必要性は感じるが何をすれば良いかわからない

校種毎の課題

- ・今必要な課題として捉えにくい（小学校）
- ・事後対応的な取組が多い（中学校）
- ・実態把握の難しさ（高等学校）
- ・参考となる実践例がほとんどない（特別支援学校）



文部科学省YouTubeチャンネル

https://www.youtube.com/playlist?list=PLGpGsGZ3lmbA0dZf-4u_Mx-BCn13GwDI



ここから始める情報モラル指導ガイド（岡山県総合教育センター作成）

<https://www.pref.okayama.jp/uploaded/attachment/274912.pdf>



スマホ・ネットとのつきあい方チェックシート

岡山県教育委員会

<https://www.pref.okayama.jp/page/556647.html>



情報モラルの三つの取組の視点（保護者への啓発、情報モラルの指導、教職員研修）から校内の取組を振り返ってみよう。

